



1. 来週火曜日から期末考査～！！

タイトル通り、来週の火曜日12月4日から2学期期末考査が始まります。修学旅行が終わってから、教室の雰囲気が変わってきたクラスが多いようです。先号にも書きましたが、徐々に入試モードに切り替わってきている感じです。しかし、全員ではありませんね。一部の人は、休み時間に大声で廊下で楽しげにお話中。2年生の今の時期ですので、悪いこととは言いませんが、ちょっと中間テストが悪かったので勉強しなければ、という人も周囲にいます。またテスト1週間前に入っても変わらない人は固定されています。声のトーンを少し下げ、休み時間いっぱいのおしゃべりは慎みましょう。

2. 学年球技会がありました！

修学旅行以来の“楽しい行事”、学年企画として球技会を開催しました。理系・文系のクラスの男女比のアンバランスから、男女混合ドッジボールとなりましたが、みんな楽しんでくれていたようです。



3. 予告なしでヴィンテージタイム始めてみました・・・

石脇先生の発案により、昼休み（12：45～13：30）の有効利用に、と13：15から机に向かって勉強を始めてみましょうと呼びかけがありました。期末考査2週間前ということもあり、半数ぐらいの人が実質的に参加していたようです。しかし、1.にもありますように、あまりにも楽観的すぎる人もいたのが事実です。3年生はこんな呼びかけなんかなくても自動的に昼休みは自分の勉強モード、あるいは、職員室へ質問行脚の時間となっています。

ある生徒が「先生、ヴィンテージタイムに見回りに来ないんですか」と聞いたそうですが、自分たちの力で出来ることはしなければなりません。きっかけは与えます。生徒同士お互いに注意し合える関係を作っていかなければなりません。3学期も同様の呼びかけをします。自主的に参加して下さい。

4. 新テストは関係のないはずだった学年【保護者様もお読み下さい】

あなたたちが1年生の頃から、何度か「現行の入試方式の最後の学年」ということを申ししてきました。今の1年生から文部科学省の学習の3要素（①基礎的・基本的な知識・技能 ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等 ③主体的に学習に取り組む態度）に基づいた入試となり、例えば英語では4技能（リーディング〈読む力〉、リスニング〈聞く力〉、スピーキング〈話す力〉、ライティング〈書く力〉という4つのスキル）重視の入試で、2021年度入試からはセンター試験の代わりに4技能判定ができる外部（民間）英語検定試験を採用する動きとなっています。先日も試行テストの2回目が行われ新聞紙上でも一部が発表されましたので見た人もいます。試しに解いてみましたか？ 1回目よりは現行のセンター試験に近づいたともいわれていますが、相変わらず問題文の量がセンター試験の比ではない多さであり、かつグラフなどの読み取り能力も必要であるなど、センター試験からは様変わりしています。これまで言われてきた「生きる力」をもっと具体的にするための入試改革であると言われる所以です。その対応に学校はてんてこ舞いです。

しかし、あなたたちは、恵まれたことに学校の今までの経験値を生かすことができます。進学希望先の大学の入試問題などの状況がわかるからです。

あなたたちの今の勉強も、新テストで問われる問題も「基礎」は同じです。しかも、新テストでは、その基礎の上に「本当の力」としての上積みの学力が問われます。教科・科目をまたがる知識・情報を応用的に処理する能力、相手(採点者)に正確に伝える能力、などが必要になります。先号にも書きましたが、読書を今からでも、というのはこの点を突いています。

また、浪人生が不利なことがあります。現在の1年生から自分の学習活動や社会貢献活動などを自分で記録する「ポートフォリオ」というものを始めていますが、現2年生はしていません。新テストを受ける際の受験票に、これまでなかった記載事項として「ポートフォリオ」が必要になってきます。

ふ～ん、私たちは大丈夫ね、と置いていたらとんでもないことになっています。今年(現3年生)から、国公立大学の推薦入試やAO入試などで、このポートフォリオが必要な入試を実施する大学が出てきました。国公立大学を目指す人は、自分の学習や部活動の記録を進路ノートなどにまとめていく必要があります。また、英検などの外部試験が利用できるようになる予定ですが、従来の英検から新しい英検の方式に切り替わるなど、他の外部試験も同様で、現2年生が浪人した場合の救済措置はしないようです。さらに、国公立大学だけでなく新テストを利用する私立大学も準備を進めています。その準備というのが、試行的に新テスト対応の入試問題を今年度、来年度と徐々に組み込んでいることです。一気に新しい方式の入試方式に私立大学も切り替えるのが不安なのでしょう、あなたたちの入試にも新傾向の出題が混ざってくると思われます。

どうするか。

言い切れることは一つ。

普段の学習をおろそかにせず、教科横断型の問題にも対応できるように、全ての科目に全力投球すること。これのみです。

なお、一部の国公立大学、私立大学等で、新テストを採用しない、と発表している大学もあります。ということは、従来通りの入試方式をとる大学と、新テスト入試を採用する大学に別れるので、あなたたち生徒の準備(受験勉強・受験校選び)の負担がますます増えることになります。

今後の動向など不透明な部分も多いです。学校側も情報を集めて公表していきますので、入試情報にはご注意ください。
【裏面に続きます】

5. 進研模試の成績について

修学旅行から帰って2日目の11月4日(日)にあった進研記述模試。その結果を、あなたたち生徒はベネッセの進研模試**デジタルサービス**で11月29日から見る事が出来ます。一足早く成績データを見る事が出来た教員から、修学旅行から帰ってきて疲れていた、という悪条件を差し引かなければならないということを承知の上で、申し述べる事が出来ます。

国・数・英の3教科とも平均が落ち込んでしまっています。1学期実施の模試スタディーサポートでは、他校に比べて学力の伸びが素晴らしいという評価を頂いていたのですが、少し残念な結果になっています。もっとも難関国立大学で良い判定を頂いている生徒もおり、上位層は変わらないが、中位層から力が発揮できていない。

このままの状況では、表側4.に記載した事と併せて、非常に危惧される事態になっていることを、理解して下さい。

また、成績が伸びない、という人が多いと思いますが、今は匍匐前進(ほふくぜんしん)する時期でしょう。周りの景色が見えなくても、**眼前のことに集中して、とどまるのではなく、ただただ前進あるのみ**。徐々に頭をもたげることが出来るようになり、やがて立って歩けるようになり、周囲の状況を見回せることができ、みんなのなかの自分の置かれている位置が理解できるようになって始めて、これから自分はどの方向に進もうか、が判断できます。その最初の最初の段階にまだ、いるのです。

6. 《12月》主な行事予定 【※SC=スクールカウンセリング】

日曜	行事予定	日曜	行事予定
1 土		16 日	
2 日		17 月	▲6限授業【要弁当】
3 月		18 火	
4 火	期末考査1日目	19 水	
5 水	2日目	20 木	▼
6 木	3日目	21 金	大掃除、終業式
7 金	4日目【SC】	22 土	
8 土		23 日	《天皇誕生日》
9 日		24 月	《振替休日》
10 月	1～3限：授業、4限-小論文講演会	25 火	
11 火	1～3限：授業、4限-進路講演会	26 水	
12 水	6限授業【要弁当】▲	27 木	
13 木	1～4限：授業、午後-人権映画鑑賞	28 金	
14 金	6限授業▼	29 土	
15 土		30 日	
		31 月	

※主な1月行事…1/7(月)大掃除、始業式；課題考査(3～5限)；6限LHR【要弁当】

1/8(火)理系-課題考査(1・2限),4～6限授業；文系は6限授業。

1/20(日)進研記述模試<1/19(土)・20(日)3年生センター試験>-来年は君たちですよ。

◎3学期の総合学習は、「志望理由書」を書く練習が始まります。

☆。・～・。★。・～・。 <<主任雑感>> ☆。・～・。★。・～・。

3年文系の世界史B(5単位)を受けもっていますが、徐々に力がついてきたと実感しています。質問のレベル、成熟度がどんどん高度になってきています。1学期の頃は3年生なのにあまり質問にも来ず、来ても基本的なことなので、教科書・史料を見せて1分以内で終わっていました。ところが、今は自分の問題集や学校以外の教材を持ってきての質問になり、総まとめ配布したプリントの私の間違いに気付いて、というようになってきています。また、筑波大学の論述式の試験問題を持ってくる生徒もいて、こちらも頭を抱えながら、ウンウンとうなりながら、一緒に解答を考えたらあっという間に30分、というシーンも増えてきています。

正直な話、楽しいです。

教科書に載っている、とおりにいっぺんのことを教えるなら、誰でも出来る(社会なんかもうすぐ機械(コンピュータ?)が教えるようになると言われ、社会科教師は消滅すると言われていました)。対して、生徒と対話して一緒に考える作業の楽しいことと云ったら、普通の授業とは比べものにならない。

授業も生徒に考えさせる時間をとるなどの改善が始まっているのですが、いかんせん、ある程度の知識がないと討論・議論にならない。その知識を伝えることで時間がきてしまう。軽い話し合いくらいしかできていないのが私の授業。

ところが、質問にきてくれると授業で伝えきれなかったことが思いっきり話せるし、生徒の引っかかる箇所がこちらにもわかるという相乗作用があり、授業にフィードバックできます。

基本、教師は“教えたがり”です。それを、今は、生徒自身で考えるように仕向けることになっています。なのに、授業内容がどうみても中途半端で終わっていることに生徒自身が気付いていない。だから質問にもなかなか来ない。テスト前はさすがに来ますが…。

生徒の皆さん、もっと教師を利用しましょう！ 難解な質問に限らず、自分が引っかかっている基本的な質問も大歓迎です！！むしろ基本的な質問の繰り返し多数の方が大事ですね。

※2学期保護者会(三者懇談)の案内文書を12月3日付けで配布いたします。希望制ですのでご希望がありましたら申し出て下さい。なお、学校側からの懇談の依頼がある場合もありますので、その節はよろしくお願いいたします。